

| | | | | | |
|-----|--------------------|----|-------|----|------|
| 科目名 | 【講義4／演習】企業と経営の基礎理解 | 方法 | 講義・演習 | 時数 | 150分 |
|-----|--------------------|----|-------|----|------|

1. 本科目のねらいと獲得目標

【獲得目標】

- (1) 一般的な就労支援を行う上で必要となる、企業文化・企業経営の基本的な知識や視点について学ぶ。
- (2) 就労系サービスにおける各事業所の運営に必要な経営的アプローチについて学ぶ。

【ねらい】

一般的な就労支援を進めるためには、企業という仕組みについて理解をすることがとても重要である。講義や演習を通して、企業が行う活動の本質的な意義や目的などを確認するとともに、就労系サービスにおける各事業所が行う運営を経営的な視点から、その在り方等についての理解促進をねらいとする。

2. 本科目の概要と指導ポイント

| 科目概要 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本における企業の位置づけや企業文化を理解する。 (2) 基本的な労働関係法規の体系と、就労系サービスにおける各事業に関わりの深い労働関係法規を理解する。 (3) 就労継続支援事業における経営改善・工賃向上に向けた経営分析の手法について理解する。 |
| 指導ポイント |
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 企業文化を理解するという視点で、企業の定義・企業の基本的な分類・企業文化の定義など、基本的な企業という仕組みについて講義でおさえ、演習（グループワーク）を通して理解促進を図る。 (2) 就労支援を行う上で必要な基本的な労働関係法規、また就労系サービスにおける各事業の運営に関わりの深い労働関係法規について講義でおさえ、演習（グループワーク）を通して理解促進を図る。 (3) 企業経営の基礎を理解するという視点で、企業が活動を行う際に策定する経営理念・経営ビジョン・経営戦略等の定義などを講義でおさえる。また、就労系サービスにおける各事業所の経営改善・工賃向上等に関連する経営分析の手法等についても講義でおさえ、演習（グループワーク）を通して理解促進を図る。 |

3. 本科目の展開例

| 本時の展開 | | |
|-------|------------------|---|
| 導入 | 5分 | この単元のねらいと全体の流れを説明する。 |
| 展開1 | 講) 10分 | 企業文化の理解 (講義)「企業の定義、企業の分類、企業文化とコーポレート・インデンティティ」に関する解説 |
| 展開2 | 講) 25分 演) 35分 | 企業経営に関する基礎理解 ①(講義)「企業が行う経営とは(経営理念・ビジョン・経営戦略)」の解説 ②(講義)「経営分析の手法について」の解説 ③(演習／グループワーク) 財務諸表と損益分岐点に関する課題について検討を行う。 →各グループに課題となる別紙を提供(2分) →講義担当者で課題の読み上げ、グループワークの内容を説明(3分) →各グループで進行・発表者を決める(1分) →進行役を中心に、課題について検討する(16分) →グループでのまとめ(3分) →全体発表(10分) |
| 展開3 | 講) 25分 演) 35分 | 基本的な労働関係法規の理解 ①(講義)「働く権利の保障とは(憲法・労働法・各種関係法等)」の解説 ②(講義)「就労系サービス各事業運営に関連する労働関係法規」の解説 ③(演習／グループワーク) 発達障害のある方の事例を通じて、障害のある方の就業生活を支えるために必要な労働関係法規についてディスカッションを行う。 →各グループに課題となる別紙を提供(2分) →講義担当者による課題の読み上げ、グループワークの内容説明(3分) →各グループで進行・発表者を決める(1分) →進行役を中心に、課題について検討する(16分) →グループでのまとめ(3分) →全体発表(10分) |
| 展開4 | 15分 | まとめ ・企業経営と障害者雇用について現状と課題を解説。 ・健全な企業経営には、健全な企業経営上の理念やビジョンが必ず存在しているということを解説。 |